

ホ・ロゴス 2023年 春号



巻頭言

理事長 遠山信和

わたしに聞け、ヤコブの家よ／イスラエルの家の残りの者よ、共に。あなたたちは生まれた時から負われ／胎を出た時から担われてきた。同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで／白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。

イザヤ書46章3～4節

夏目漱石は、「草枕」の冒頭において次のような文章をしたためています。

「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とにかくに人の世は住みにくい。」

これは人づきあいの難しさについて述べたものですが、そればかりではなく、現在、私たちの住む地球は様々な問題を抱えているように思います。環境問題、道徳の低下、犯罪の増加、低年齢化、健康問題、人口増加、飢餓や干ばつ、自然災害、食糧危機、金融危機、戦争など、数え上げればきりが無いほどの問題があります。子どもたちも、将来に対する夢や希望を失いかけており、これからの世界は、はたして存在し続ける事が出来るのだろうかと不安を抱いておられる方々も少なくないのではないのでしょうか。

私たちの心は、人間関係やこの世界の出来事によって一喜一憂し、将来への不安や恐れを抱いたりするものです。神様は、そのような私たちに対しても、「**あなたたちは生まれた時から負われ／胎を出た時から担われてきた。**」と言われるのです。さらに、「**わたしはあなたたちの老いる日まで／白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。**」と言われてしています。

私たちは誰でも、生まれた時と年老いた時では、本当に大きな違い（変化）

があります。社会情勢は今日でも目まぐるしく移り変わっていきます。年を積み重ねれば、体の衰えに向き合わされますし、また年を重ねるごとに、新しい問題・課題が生まれてきます。けれども、私たちの主なる神様は、あなたが生まれた時から、老いて白髪になる時まで、この神様は変わることなくあなたを担い、背負い、救い出す、と言われ、実際に私たちの人生のすべてに渡って担い、背負い、救い出してくださるのです。

聖書によっておかたりに神は、生きる中で疲れ果て、重荷を背負って呻いている私たち一人一人に、わたしのもとに来なさい、と言われます。わたしを呼び求めなさい、と言われます。わたしがあなたを最後まで担う、と言ってくれるのです。私たちが生まれた時も、白髪になった時も、変わることなく背負い、担ってくださいます。

イエス・キリストは、私たちのために十字架にお掛かりくださった救い主です。キリストは、私たちの中にある汚れ、重荷、疲れ果てること、そういう私たちの全てをその身に背負って十字架にお掛かりになりよみがえられました。

イエス・キリストはすでに死に打ち勝ってよみがえられ、再びこの世の悪を裁くとともに、救いの御計画を実現し完成させるためにやがて再臨なさいます。主が来られる時を待ち望みつつ、この希望をもって今を生きるものでありたいと思います。



理事会報告

理事長 遠山信和

今年度の静岡キリスト教盲人伝道センターの理事会は、2023年1月30日に行われました。新型コロナウイルス広がりが続く中で、静岡教会会堂にて参加された方々とともに、遠隔地の方々には、ZOOMで参加していただくという形をとりました。

開会にあたって、吉田隆理事（神戸改革派神学校校長）が、「遣わされた者」と題し、ヨハネによる福音書9章1～7節から説教をしていただきました。

センターは多くのボランティアの方々に支えられ、主の善き導きのもとに現在の働きがあることを、あらためて強く思わされております。

コロナ禍の中にもありながらも、基本的な業務はほぼ通常通り行うことが出来ました。ボランティアの方々の高齢化ということもあり、ボランティアの方々の引退や休止が相次ぎましたが、伊藤良子姉がパートとして加わってくださいました。その他にも新しいボランティアの方々も与えられ支えられましたことを感謝いたします。改めて、全国で多くのご

奉仕をしていただいている皆様に感謝申し上げます。

点訳通信講座（指導員：森平邦子長老）、及び音訳通信講座（指導員：三田村苗美姉）を開講しています。静岡音訳グループの勉強会（講師：伊縫智子理事）は4月から7月までと、9月から12月に行いました。

昨年度は、・ホ・ロゴス春号（4月）をインターネット配信するとともに、ホ・ロゴス59号(2022/10月)9500部（全カラー紙面）で各教会にお送りいたしました。今後は、さらに広報活動にも力を入れていきたいと思いをします。

センターを利用できるのは視覚障がい者のみであるという認識が一般的に在るかもしれませんが、著作権法が改正され、視覚障がい者の方々でなくても、お年寄りになって目が見えにくくなった方々などについてもセンターの音声データを利用させていただくことが出来るようになっていきます。視覚障がい以外の方々にも利用できるということ、さらにアピールしていきたいと思いをします。

諸報告とともに昨年度決算及び今年度予算案も承認されました。昨年度もコロナウィルス禍にありましたが、諸教会の皆様がセンターの働きを覚えて献金をいただき、収支は黒字で新しい年度を迎えることが出来ました。維持会員は以下の通りです。

- ・維持会員の目標1万口（一口100円/月）
 - ・教会22教会1,051口（昨年度は22教会 779口）
 - ・個人21名 291口（昨年度は20名 195口）
- 合計：1,342口（1,610,400円/年）

引き続き一口100円/月からのセンター維持会員を募集しています。

主によって立てられたセンターの働きが、まことに主の御心を行うことが出来ますように、更によりよいサービスの提供ができますように、職員・スタッフ一同励んでまいります。皆様のお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。



2023年度理事

理事長：遠山信和

理事：青山鶴江、伊縫智子、植田悟、川島伊作、熊田なみ子、三瓶忠克、
島袋正直、田中敏信、遠山百合子、望月千雅子、吉田隆

監事：小谷和海



*利用登録者数 404名 *登録ボランティア数 85名

【2022年度貸し出しの多かった図書】

*点字

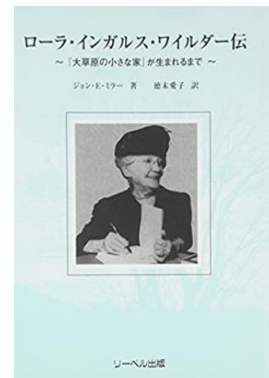
『聖書六十六巻を貫く一つの物語』鎌田直人著

『イスカリオテのユダ』カール・バルト著

*音声デイジー

『小さいのちのドアを開けて』永原郁子著

『ローラ・インガルス・ワイルダー伝』ジョン・E・ミラー著



2022年度 決算報告

(2022年1月～12月)

	費目	予算	決算	%
収 入	献金：諸教派	1,900,000	1,624,193	85
	献金：改革派	4,000,000	4,615,066	115
	献金：静岡教会	414,000	528,082	127
	雑収入	0	891,866	
	基金繰出	550,000	0	
	繰越	438,915	438,915	
	収入合計	7,302,915	8,098,122	111
支 出	事業費	2,061,000	2,091,971	102
	対外協力費	145,000	150,180	104
	一般管理費	4,730,000	4,948,331	105
	繰越	0	841,580	
	予備費	366,915	66,060	
	支出合計	7,302,915	8,098,122	111

2022年度 貸借対照表 (2022.12/31 現在)

2022年度		2022/12/31 現在	
資産の部		負債・基金の部	
【流動資産】	13,225,542	【一般基本金】	8,440,572
現金	216,343	一般基本金	8,440,572
郵便振替	830,885	【流動負債】	482,142
普通預金(静岡銀行)	649,534	預り金	482,142
郵便貯金(ゆうちょ銀行)	11,406,106	【固定負債】	1,791,340
普通預金(大垣共立銀行)	122,674	退職給与引当金	1,791,340
【固定資産】	8,440,572	【基金】	11,901,820
建物	8,121,571	事業運営基金	6,233,313
器具・備品	319,001	建物基金	4,331,659
		障害者基金	1,036,848
		センター準備金	300,000
【その他資産】	1,791,340	繰越利益剰余金 (経常会計・次年度繰越)	841,580
中退共掛金	1,791,340	基金等合計	12,743,400
資産合計	23,457,454	負債・基金合計	23,457,454

会計監査報告

会計監査は、1月12日(木)、2022年度決算について、決算書および帳票、通帳、証拠書類などに関する書類等を監査した結果、計数が正確で、収支共に処理されていたことを認めます。

2023年1月12日

会計監査

小谷和彦 

皆様の尊いご支援により1年間の活動が支えられ感謝いたします。

2022年度 ボランティア感謝報告

ボランティア ありがとうございます！

今年度、製作完成図書に関わって下さった方々です。

- 【点訳】個人7名、3グループ
- 【点写】個人2名
- 【音訳・音訳校正】個人45名、3グループ
- 【デイジー編集】個人19名
- 【テキストデイジー】個人5名
- 【AI編集】個人2名
- 【テキスト取り込み】個人5名
- 【音訳指導・通信講座】指導員3名
- 【点訳指導・通信講座】金指導員2名
- 【その他のボランティア】1団体

＊皆様の変わらないお働きとご協力を心より感謝します＊

.....

2022年度 献金感謝報告 (2022年1月～12月)

維持献金・ご支援献金を感謝いたします！

- ＜個人＞ 45名、15教会維持会員
- ＜教会・団体＞ 166教会、10団体

以上、感謝をもってご報告させていただきます。

2023年4月 静岡キリスト教育人伝道センター
〒422-8041 静岡市駿河区中田1-5-21
Tel054-285-0496 Eメールアドレス:shizumouden@dct7.net